



みすどかる

発行責任者:小松賢吾(校長)

いよいよ冬です

気温の下がった朝は、霜が降りようになってきました。少し高い山は雪が積もるようになってきています。相変わらず校内では半袖半ズボンの姿をよく見るのですが、子どもたちは寒さに負けず、季節を感じさせない元気さがあります。うらやましい限りです。

なかよしの時間（縦割り班活動）

明日、12月11日（水）に、両校の縦割り班活動である「なかよしの時間」が行われます。小学校では5回目、支援学校が参加して3回目の活動になります（最初の2回は小学校だけで、まず他学年と一緒に関わってみる、ということをやりました）。本校は、小学校と支援学校が併設している学校ではあるものの、昨年度までは両校の全員が日常的に関わる機会というものがあまりありませんでした。そこで今年度から、両校の児童生徒が日常的に関わる機会として、小学校、小学部、中学部、両校全員が混ざって一緒に過ごす「なかよしの時間」を始めました。小学校も単級（学年1クラス）の学年が多く、学級を超えて人間関係を広げるためにも必要な活動だと思っています。

初めて支援学校の児童生徒が参加した9月の「なかよしの時間」では、①自己紹介、②記念撮影、③動画を見ながらダンス、という3つのミッションがありました。あるグループでは、①自己紹介が終わり②記念撮影を行うためみんなで移動する場面になったのですが、うまく移動ができませんでした。するとある子が「じゃあ、ぼくたちがそこに集まればいいんじゃない？」と提案してくれ、2つめのミッション成功。③ダンスの場面になりましたが、大きな音の苦手な子がいることに気づいた周りの子どもたちが、「大きな音は苦手だったよね。じゃあ、音を小さめでやればいいんじゃない？」と提案してくれ、ボリュームを控えめにしながら無事3つめのミッションも成功させることができました。

うまく移動できなかつたお友だちがいるときに、その子が移動できないなら自分たちがその友だちの周りに集まればいいという柔軟な発想をしたり、やるやらない、良い悪いという二者択一ではなく、柔軟に折り合いをつけて丁度良い塩梅を見つけ出し、みんながお互いに楽しめる方法を探ったりする姿に、共に活動することでの育ちを感じることができました。

須坂小学校と須坂支援学校の児童生徒は、どちらかが何かをしてあげる、してもらうというような関係ではなく、あくまでもフラットに「お友だち」としての関係で生活をしています。地域



と一緒に生活すべき子どもたちが一緒に生活をしているこの環境はとても素敵だと思っています。両校の子どもたちの関わりは、いつも思った通りにいくわけではありません。でも、それはどこの学校、どこのクラス、どんな集まりでもよくあることで、うまく関われなかったときには、次はどうするかを考え、改善していけばいいだけのことです。これは全ての人間関係において同じことです。須坂小学校の子どもたちだけだっといういろいろなお子さんがいて、須坂支援学校のお子さんたちだけだっという、日々いろいろな関係性を築きながら生活をしています。小学生と小学部生と中学部生、さまざまな子どもたちの関わりから、子どもたちは多くのことを感じ、学んでいるようです。今年は小学校の6年生が小学部に行って一緒に読書を楽しんだり、小学部・中学部ともに生活単元学習に小学生を招待したりといった日常的な関わりが増えています。まずは関わってみんがお互いを感じとることからです。今回の交流でも、どんな班でどんな活動をして、どんなことを感じ考えたのか。ぜひ聞いてみていただけたらと思います。

インクルーシブな教育に向け

須坂小学校は本年度、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所（以下、特総研）重点研究「共生社会の担い手を育む教育に関する研究」の研究協力機関となっています。12月4日にも、特総研のインクルーシブ教育システム推進センターから3人の研究員の方が学校を訪れ、休み時間の両校児童の自然な関わりの様子や小学校授業の参観、担任への聞き取り調査が行われました。今後は、センター長の久保山先生をお招きして、日常の授業の様子を見ていただき、さまざまなお子さんが一緒に学び、一緒に生活する環境や支援のあり方といった視点で、ご助言を仰ぎながら両校の学校づくりをすすめていく予定です。

「障がいがあってもなくても、地域の子どもは地域で育てる」という須坂市の理念の詰まった学校として、両校の行事や交流のあり方など、更によりよいものにしていきたく願っています。この環境で、何をどう行うことが両校の子どもたちの今と将来の幸せにつながっていくのか、保護者の皆様や地域の皆様にも行事を見た感想や、お子さんたちとの話題について、お声を気軽に寄せていただけるとありがたいです。良かった点でも改善点でも何でも構いませんので、よろしく願いいたします。

連絡・お願い

- ・教室の中は比較的湿度も湿度も保たれているのですが、廊下は換気のために窓を開けており、温度が低くなっています。校内でも教室内外で温度差があるため、簡単に着たり脱いだりできる薄手の上着のようなものを持たせていただけるとありがたいです。着てきても、置いておいて週末に持ち帰るといっても構いません。
- ・インフルエンザやマイコプラズマ肺炎、新型コロナなど、さまざまな感染症蔓延の心配があります。早寝早起きや食習慣など、健康な身体の維持のためにご協力いただけるとありがたいです。感染症などにより、給食を食べて下校という対応や学級閉鎖等の可能性もあります。オクレンジャーの配信がないか気にいただいたり、早い下校になった時にはどうするかの確認を親子でしていただいたりするなど、いざというときの準備をお願いします。
- ・昨冬も、子どもたちの安全な通学のために、通学路の除雪や凍った道路の解氷など、さまざまなお心遣いをいただきありがとうございました。12月に入り、各地から雪の便りが聞こえてきています。ご自宅前やお気づきの場所だけで構いません。この冬におきまして、保護者の皆様や地域の皆様の除雪や解氷へのご協力をいただけますよう、お願いいたします。